

彼らの奮闘で、少しずつ少しずつ「復旧」は進んでいる

①水素爆発で吹き飛んだ
4号機建屋を真下から

水素爆発で大きく吹き飛んだ4号機の原子炉建屋。7月31日に使用済み核燃料のプールから水を引き出し、冷やして再びプールに戻す循環型冷却装置が稼働したものの、いまだに写真の右側からは水蒸気が上がりつづけている（右下のタイムスタンプは撮影したカメラの設定によるもので、実際の撮影日とは違います）



4号機で肉体労働なう…合間に隠れて肉迫写!

独占入手! 福島第1原発 作業員が撮ったボロ現場

「フクイチの今を知ってほしい」。今日このときも放射線を浴びて最前線で働く原発作業員が本誌に提供した生々しい画像からは、公式発表では見えない「ありのまま」の原発の姿が見えてくる。彼らが見る「復旧作業」の現実をルポする!

取材◎ヨココ(ライター)&本誌取材班